

規格外魚(ホシザメ)の有効利用 (合資会社 対馬新聞社)

長崎県対馬地域では、流通等の面で条件が不利な離島にあることに加え、魚価の低迷も続き、漁業者の減少に歯止めがかからない状況となっていました。そこで、従来から魚介類や島内の特産物の加工事業を行ってきた対馬新聞社が、混獲される「ホシザメ」等の未利用あるいは低利用の漁獲物を利用して新たな商品開発に取り組み、漁業者の収入を向上させることを目的として実施しました。

事業の効果としては、「ホシザメ」を利用したソーセージ及び唐揚げの販売を進めており、製造・加工・販売に携わる6名を雇用しています。



(出典: 社団法人 大日本水産会発行 水産ビジネス事例集Vol.4 P78)